●最優先の検討課題

せとうちマリン水族館の来場者数は、開業以来、順調に上昇してきたが、2020年に初めて減少に転じた。感染症対策による営業自粛期間があったこと、レジャーが多様化したことなど、さまざまな要因が考えられる。

そこで、せとうちマリン水族館の企画課では以下の2つの検討課題を最優先で取り上げ、営業再開後、より多くのお客様が満足できる施設に改善する。

1つ目は、インフラの整備である。来館客の高齢化、多様化に対応し、駐車場からの誘導、館内施設の改装、特に人気スポットの海浜公園への誘導を早急に実施する。具体策としては優先駐車スペースの拡大、食事処の改装、海浜公園への誘導標識の設置を検討する。2つ目は、インターネットの活用である。営業自粛の際の対策では、インターネットの活用で認知度を上げることができた。日本国内に限らず、外国人観光客も新しいマーケット開拓として有効と考えられる。具体策としては、SNSを活用した写真やブログの発信、バーチャルイベントの開催、写真撮影用スポットの設置の検討が急務である。